

2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社エッチ・ケー・エス 上場取引所 東
 コード番号 7219 URL https://www.hks-global.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水口 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 赤池 龍記 (TEL) 0544-29-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績(2022年9月1日~2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	4,460	13.5	232	△16.3	219	△36.3	146	△55.0
2022年8月期第2四半期	3,930	4.9	277	117.0	344	106.2	326	175.6

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 150百万円(△56.0%) 2022年8月期第2四半期 341百万円(162.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	103.87	—
2022年8月期第2四半期	230.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	12,785	9,599	74.9
2022年8月期	13,091	9,520	72.6

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 9,576百万円 2022年8月期 9,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	4.3	450	△15.5	475	△34.1	310	△37.5	219.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年8月期2Q	1,600,000株	2022年8月期	1,600,000株
2023年8月期2Q	185,080株	2022年8月期	185,005株
2023年8月期2Q	1,414,940株	2022年8月期2Q	1,415,044株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源高や海外経済の減速による下押し圧力を受けながらも、新型コロナウイルス感染症や供給制約の影響が和らぐもとの、緩和的な金融環境や政府の経済対策の効果にも支えられ、持ち直しの動きが続き、今後もウィズコロナのもと、各種政策の効果もあって景気は持ち直していくと期待されますが、世界的な金融引締めや物価の上昇等による下振れリスクには留意する必要があります。

海外経済においては、米国経済は緩やかな持ち直しが続き、個人消費にも底堅さがみられましたが、物価の上昇や利上げの継続により、回復ペースの減速が続いています。中国経済は、新型コロナウイルス感染再拡大の影響等でこのところ弱さがみられましたが、ゼロコロナ政策の終了により、今後は経済正常化に向けた動きが続くとみられます。欧州経済は緩やかに回復してはいるものの、ウクライナ情勢の影響が続くもとの減速の動きがみられ、アジア新興国経済は経済活動の再開が内需を支えるものの、外需の減速等が回復ペース鈍化のリスクとなっています。

このようななか、当社主力であるアフターマーケット事業におきましては、ウィズコロナにともなう消費行動の多様化等でユーザーの消費行動に変化の兆しがみられるものの、新製品の投入効果に加え、重点商材として拡販に力を入れているマフラー商材およびサスペンション商材が好調を維持していること等から、売上全体では前年同期を上回って推移しました。売上を商材別で見ますと、国内においてはマフラー、サスペンション商材に加え、ターボ・冷却商材等が、海外においてはマフラー、サスペンション商材に加え、スーパーチャージャー等が好調に推移しております。海外地域別では、米国では、円安による買い込み需要等に加えて、第3四半期連結会計期間に売上の計上を見込んでいた貨物の一部が当第2四半期連結会計期間に前倒しされたことで売上高は大きく伸長しました。中国を除くアジア地域も、主にタイ王国の子会社にて、国内および周辺諸国へのマフラー商材の出荷量が増えたことから売上が伸びております。反面、中国はゼロコロナ政策からの立ち直りの遅れや現地消費行動の変化等により売上は前年同期を下回り、欧州も売上は前年同期を下回っています。

アフターマーケット以外の分野では、一部の製品にて委託企業の生産調整の影響等による受注の減少がありましたが、受託開発売上が増加したこと等から売上高は前年同期を上回りました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は4,460百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

損益面では、内製品の売上高増加にともない、工場の稼働率は堅調に推移いたしましたが、原材料費や電気料等の高騰による売上総利益率の低下に加えて、米国向け出荷量の増加等による販売運送費の増加や、創業50周年記念行事等の開催による広告宣伝費の増加、昇給等による人件費の増加、ウィズコロナによる出張等の増加による旅費交通費の増加等により、販売費及び一般管理費が前年同期比で198百万円増加したことから、営業利益は232百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

また、経常利益は219百万円（前年同期比36.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は146百万円（前年同期比55.0%減）となりました。経常利益の前年同期比での減少は、主として為替の状況を要因としたものであり、親会社株主に帰属する四半期純利益の前年同期比減は、前年同期に特別利益として計上した土地の売却益がなくなったこと等によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ306百万円減少し、12,785百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ230百万円減少し、6,059百万円となりました。これは主に、需要期に向けた製品等の積み増しにより棚卸資産が170百万円、契約資産が60百万円増加しましたが、現金及び預金が419百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、6,725百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が74百万円増加しましたが、投資有価証券が79百万円、建設仮勘定が65百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ385百万円減少し、3,185百万円となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べ291百万円減少し、2,218百万円となりました。これは主に、その他流動負債が137百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、967百万円となりました。これは主

に、長期借入金の返済によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、9,599百万円となりました。これは主に、利益剰余金が76百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ248百万円減少し、1,729百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は42百万円（前年同期は140百万円の取得）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額183百万円、法人税等の支払額99百万円、およびその他流動負債の減少額98百万円等の資金の減少要因に対し、減価償却費282百万円、税金等調整前四半期純利益の計上額221百万円等の資金の増加要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果取得した資金は53百万円（前年同期は425百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得額319百万円、投資有価証券の取得額301百万円、および有価証券の取得額199百万円等の支出に対し、有価証券の償還額600百万円、定期預金の増加額300百万円等の収入があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は211百万円（前年同期は6百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の減少額137百万円、配当金の支払額70百万円等の資金の減少要因があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月14日の「2022年8月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,948,545	1,529,010
受取手形	—	508
電子記録債権	114,935	113,379
売掛金	951,374	912,422
契約資産	81,141	141,152
有価証券	600,000	599,955
製品	1,583,587	1,676,879
仕掛品	217,503	235,630
原材料及び貯蔵品	576,535	635,322
その他	220,514	223,345
貸倒引当金	△4,446	△8,104
流動資産合計	6,289,691	6,059,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,679,446	1,754,073
機械装置及び運搬具（純額）	1,070,477	1,068,333
土地	2,041,296	2,039,248
リース資産（純額）	14,855	11,946
建設仮勘定	98,292	32,915
その他（純額）	98,978	118,185
有形固定資産合計	5,003,347	5,024,702
無形固定資産		
その他	156,820	152,259
無形固定資産合計	156,820	152,259
投資その他の資産		
投資有価証券	1,267,029	1,187,081
長期貸付金	11,954	12,214
その他	363,980	350,703
貸倒引当金	△1,384	△1,329
投資その他の資産合計	1,641,579	1,548,669
固定資産合計	6,801,747	6,725,631
資産合計	13,091,438	12,785,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	371,781	359,856
電子記録債務	564,067	539,982
短期借入金	567,458	524,310
リース債務	6,174	5,469
未払法人税等	115,610	68,969
賞与引当金	101,085	82,831
製品補償引当金	70,369	60,965
その他	713,483	576,280
流動負債合計	2,510,030	2,218,665
固定負債		
長期借入金	552,610	458,198
リース債務	9,651	7,214
役員退職慰労引当金	58,240	58,625
退職給付に係る負債	434,349	443,084
その他	6,400	—
固定負債合計	1,061,251	967,121
負債合計	3,571,281	3,185,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,750	878,750
資本剰余金	963,000	963,000
利益剰余金	7,880,990	7,957,219
自己株式	△350,885	△351,039
株主資本合計	9,371,854	9,447,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,056	69,363
為替換算調整勘定	78,234	58,964
その他の包括利益累計額合計	133,291	128,327
非支配株主持分	15,010	23,091
純資産合計	9,520,156	9,599,349
負債純資産合計	13,091,438	12,785,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
売上高	3,930,822	4,460,934
売上原価	2,259,525	2,636,343
売上総利益	1,671,296	1,824,591
販売費及び一般管理費	1,393,473	1,592,120
営業利益	277,823	232,470
営業外収益		
受取利息	3,433	5,431
受取配当金	2,930	3,197
貸倒引当金戻入額	4,404	-
為替差益	41,656	-
スクラップ売却益	4,642	4,348
その他	12,445	4,948
営業外収益合計	69,512	17,926
営業外費用		
支払利息	2,255	4,598
為替差損	-	22,346
その他	505	3,810
営業外費用合計	2,761	30,755
経常利益	344,574	219,641
特別利益		
固定資産売却益	61,419	1,851
投資有価証券売却益	824	-
特別利益合計	62,243	1,851
特別損失		
固定資産売却損	153	-
固定資産除却損	463	285
特別損失合計	616	285
税金等調整前四半期純利益	406,201	221,206
法人税、住民税及び事業税	44,963	54,146
法人税等調整額	34,570	11,650
法人税等合計	79,533	65,796
四半期純利益	326,667	155,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	8,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	326,667	146,979

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
四半期純利益	326,667	155,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,188	14,306
為替換算調整勘定	17,678	△19,620
その他の包括利益合計	14,489	△5,314
四半期包括利益	341,157	150,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,157	142,015
非支配株主に係る四半期包括利益	—	8,080

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	406,201	221,206
減価償却費	278,637	282,667
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,404	3,755
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,561	△18,254
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,785	385
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,135	8,734
製品補償引当金の増減額(△は減少)	—	△9,403
受取利息及び受取配当金	△6,363	△8,628
支払利息	2,255	4,598
為替差損益(△は益)	△4,844	△552
有形固定資産除売却損益(△は益)	△60,802	△1,565
売上債権の増減額(△は増加)	163,297	△23,366
棚卸資産の増減額(△は増加)	△422,901	△183,826
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△60,722	△5,284
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,637	△21,389
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△18,602	△98,301
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,706	3,934
その他	△1,436	△18,577
小計	221,328	136,131
利息及び配当金の受取額	7,633	10,271
利息の支払額	△2,310	△4,545
法人税等の支払額	△103,677	△99,364
法人税等の還付額	17,607	433
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,581	42,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は減少)	—	300,000
有価証券の取得による支出	△200,000	△199,962
有価証券の償還による収入	200,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△213,206	△319,547
有形固定資産の売却による収入	202,487	2,188
無形固定資産の取得による支出	△13,931	△27,339
投資有価証券の取得による支出	△402,190	△301,581
その他	1,769	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425,071	53,724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	500,000	15,000
長期借入金の返済による支出	△152,560	△152,560
リース債務の返済による支出	△3,141	△3,141
自己株式の取得による支出	—	△154
配当金の支払額	△50,677	△70,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,379	△211,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,579	△5,012
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△277,290	△119,534
現金及び現金同等物の期首残高	2,255,031	1,848,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,977,740	1,729,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。